

子育て



「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」にご協力ください

市では、新たな「子ども・子育て支援事業計画」を策定する準備を行っています。そこで、本市に適した子育て支援を目指すため、ニーズ調査を実施します。

●対象 妊婦および0～10歳までのお子さんを養育する保護者など

●調査方法 無作為抽出による郵送方式

※調査は無記名で実施し、回答も秘密が厳守されます。

※返信封筒を同封しますので、切手を貼らずにご返送ください。

問 子ども幸福課 東1階

TEL (23) 8769
(23) 8932

健康・福祉



風しん予防接種費用の一部助成について

平成25年の全国風しん患者報告数は、1万人を超え、過去6年間で最多となりま

した。風しんの流行は、数年持続するとされています。特に、妊婦が風しんに罹患すると、先天性風しん症候群(※)の子どもが生まれることがあるため、注意が必要です。

市では、赤ちゃんを守るためにも、風しん予防接種費用の一部助成を行っています。

※「先天性風しん症候群」

妊婦が妊娠初期に風しんにかかることで胎児が感染すると、出生児に白内障、心疾患、難聴などの障害が起る可能性があります。

●助成期限

平成26年3月31日

●対象

市民で風しん未罹患・未接種で次に該当する方

①妊娠を希望している方

②妊娠中の方は接種不可

③18歳～60歳未満男性

※原発避難者特例法に基づき指定市町村から住民票を移さずに大田原市に避難されている方を含む

●実施方法

市内の予防接種実施医療機関を予約し、接種を受け

ます。各医療機関によりワクチン在庫状況は異なりますので、各医療機関にお問い合わせください。

※市外の医療機関で接種する場合、事前手続が必要な場合があります。担当課までお問い合わせください。

※予防接種を受ける前に医療機関にある「風しんの予防接種を受ける方への説明書」をお読みください。

※予防接種を受ける方が20歳未満で保護者が同伴しない場合(20歳未満の既婚者は除く)、保護者が記入した予防接種のほかに「風しんの予防接種同意書」が必要です。

●自己負担額

【風しんワクチン】
2500円

(接種料金5000円のうち2500円を市が助成)

【麻しん風しん混合ワクチン】
5000円

(接種料金10000円のうち5000円を市が助成)

※助成は1人1回まで

※いずれかのワクチンを選択してください。

問 健康政策課 東1階

TEL (23) 8975



感染予防に努めましょう

問 健康政策課 東1階 TEL (23) 8975

ノロウイルスによる感染性胃腸炎やインフルエンザが流行する時期です。日頃から手洗い、うがいをし、十分な栄養と睡眠をとり、体調管理に努めましょう。



- 【1】外出から帰宅したときや、トイレの使用後、調理や食事の前は、手洗いをしましょう。
手を洗った後は、①きちんと手を拭きましょう。②ハンカチやタオルは常に清潔にしておきましょう。
 - 【2】朝起きたときや帰宅したとき、空気が乾燥しているときなどにうがいをしましょう。
 - 正しいうがいの方法
 - ①20～40mlの水を口に含み、比較的強く約15秒間ぶくぶくうがいをし、軽くすすぐ。
 - ②同量の水を口に含み、のどの奥まで届くようにあごを上げて約15秒間うがいをし、もう一度繰り返す。
 - 【3】インフルエンザなどの呼吸器感染症をほかの方にうつさないために、次の咳エチケットを実践しましょう。
 - ①咳やくしゃみをする際は、ティッシュペーパーなどで口と鼻をおおい、ほかの人から顔をそむけ、1m以上離れる。
 - ②ティッシュペーパーやハンカチがない時は、腕・袖口で口と鼻を覆いましょう。
 - ③咳やくしゃみを手でおった場合は、手を洗いましょう。
 - ④咳をしている人には、マスクの着用をお願いしましょう。
 - マスクの付け方
 - ①マスクは原則使い捨て。1日1枚程度の使用。
 - ②鼻、口、あごを覆う
 - ③鼻部分を鼻すじにフィットさせる
 - ④ゴムひもで耳にしっかり固定する
 - マスクのはずし方
 - ①マスクのフィルターには病原体がついている可能性があるため、使用中や、はずすときもなるべくゴムひもを持ち、表面に触らないようにする
 - ②ふたのついたごみ箱に捨てる
- ※マスクで感染症を100%予防することはできませんが、正しく使うことで予防効果が高まります。

平成26年度市民健康 診査申し込みについて

●配布時期 12月上旬～下旬

●対象 平成25年11月1日時点で大田原市住民基本台帳に登録されている方

●申込書の配布方法

- ①自治会加入者には各自治会を通して配布します。
- ②自治会未加入者には12月中旬に郵送します。

●お願い 申込書が届きましたら、同封の添書や「健康診査のご案内」をご覧のうえ、必要事項を記入してご提出ください。

なお、市の健康診査を受診しない方も、健康調査の参考にしますので、未受診の理由を記入し、提出をお願いします。

「健康診査のご案内」は、返却せずに、ご家庭で活用ください。

●受診希望日について

健康診査会場ごとに定員がありますので、対象地区以外の健診日で申し込んだ方は、日程の変更をお願いする場合があります。

※会場の都合により前年と同時期とならない地区があります。対象地区で日程が合わない場合は申込書余白に

その旨をご記入ください。

●問申 健康政策課 東 1階

TEL (23) 7601

65歳～69歳になる方へ チャレンジスポーツジム 事業のお知らせ

●目的 運動を習慣化するため

●対象者 次のすべてに該当する市民

- ・65歳～69歳になる方で、介護認定の申請をしていない方(年度内に70歳以上になる方は除く)
- ・市税などの滞納がない世帯の方

●実施期間

開始日から連続した12週間(週2回程度)

●費用 1万8000円

(うち1万2000円は市が助成、6000円は自己負担)

※1人1回限り

●会場 次のいずれか1カ所

- ・カーブス大田原美原
- ・パインズスポーツクラブ
- ・マックスジム

●申込方法 平成26年3月31日(月)までに、左記窓

口へ直接申し込み ※印鑑をお持ちください。

●その他

持病などがある方は、医師に運動の可否を確認の上、お申し込みください。

●問申 高齢者幸福課 東 1階

TEL (23) 8917

地域で防ごう！ 高齢者虐待

近年、高齢者が家族などの身近な介護者から暴力を受ける「高齢者虐待」が増加し、社会問題となっています。

●高齢者虐待とは

- 身体的虐待 殴る・つねる・蹴る・縛り付けるなど
- 心理的虐待 怒鳴る・ののしる・無視して口をきかないなど
- 経済的虐待 必要な金銭を渡さない・年金や預貯金を勝手に使うなど
- 介護や世話の放棄・放任 (ネグレクト) 食事や入浴・排泄などの世話をしない・必要な介護や治療を受けさせないなど
- 性的虐待 同意のない性的接触や嫌がらせ・その強要など

高齢者虐待は早期発見、早期対応が必要であり、そのためには地域の声かけや見守りが大切です。

変だな？もしかして？と

思いましたらまずは左記までご相談ください。

●問申 高齢者幸福課 東 1階

TEL (23) 8757

各地域包括支援センター

- ・中央 TEL (20) 1001
- ・西部 TEL (20) 2710
- ・東部 TEL (53) 1880

※月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

※午前8時30分～午後5時

移植希望登録に係る 費用の一部助成について

市臓器移植推進協議会では、臓器の移植希望登録に係る費用の一部助成を行っています。いざという時のためにも、意思表示カードを持ちましょう。

●対象者 市内に住所を有する方で、(公社)日本臓器移植ネットワークに新規に移

植希望登録をする、または移植希望更新をする人

●助成内容

- ・新規登録時の組織適合性検査費用のうち、(公社)栃木県臓器移植推進協会から助成された額を除いた額で上限3万円
- ・移植希望更新料全額

※必要書類、申込方法など、

詳細は左記までお問い合わせください。

●問申 大田原市臓器移植推進協議会事務局 健康政策課内 東 1階

TEL (23) 8704

年金・国保 医療費の助成申請を 忘れていませんか？

市では、重度心身障害者医療費受給資格者証をお持ちの方の、保険診療分の医療費を助成しています。

受診した翌月の初日から起算して1年以内に申請してください。郵送でも受け付けていますので、ご利用ください。

●助成対象 重心に該当する障害の医療費のほか、医科、歯科、調剤などすべての医療機関での受診

●助成額 保険適用の自己負担相当額

●申請に必要なもの

- ・医療機関や薬局の領収書
- ・重度心身障害者医療費助成申請書
- ・印かん

●問申 国保年金課 A 1階

TEL (23) 8792

特集

トピックス

健康
おわたわら塾

子育て

健康・福祉

くらし

年金・国保

教養・文化

教育

スポーツ

税

産業

イベント

地域の
ひろば